

第 53 回 IRIDeS 金曜フォーラムを開催しました (2018/5/25)

テーマ：東北大学災害科学国際研究所からの情報発信

URL：<http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html>

平成 30 年 5 月 25 日(金)に東北大学災害科学国際研究所棟 1 階 会議・セミナー室において、「第 53 回 IRIDeS 金曜フォーラム」を開催しました。IRIDeS 金曜フォーラムとは、当研究所で行われている研究・活動の情報を所内のみならず学内外・一般の方々と広く共有し、研究の連携・融合を図ることを目的に、定期的な発表・討論の場として開催しているものです。本フォーラムでは、主に研究所の教員・スタッフから、各部門・分野での国際的・学際的な研究テーマについて話題提供を行います。

第 53 回は『災害研のビジョンに向けて』をテーマとして、以下 4 名の発表者から話題提供をいただきました。当日は 40 名ほどの参加をいただき、総合討論では「災害研が今後果たすべき役割とは何か」「どのように社会に対して示すべきか」について多面的な視点から討論しました。具体的には、社会への発信のタイミングや方法論について、活発な意見が出されました。

当日の発表題目は以下の通りです。

1. 『災害研が今後果たすべき役割とは』
丸谷 浩明 災害科学国際研究所 人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野 教授
 2. 『「公助・自助の拠点管理」と共助について～共助の発展と「多岐亡羊」の時代～』
守 茂昭 一般財団法人 都市防災研究所
 3. 『低頻度巨大津波の実態解明に向けて』
後藤 和久 災害科学国際研究所 災害リスク研究部門 低頻度リスク評価研究分野 准教授
 4. 『心理社会的支援の観点から考える歴史資料レスキューの意義』
上山 眞知子 災害科学国際研究所 人間・社会対応研究部門 歴史資料保存研究分野 特任教授
佐藤 大介 災害科学国際研究所 人間・社会対応研究部門 歴史資料保存研究分野 准教授
- 司会・進行：丸谷 浩明（東北大学災害科学国際研究所 防災社会システム研究分野 教授）

次回第 54 回は、2018 年 6 月 22 日（金）16：30～ 東北大学 災害科学国際研究所棟 1 階 会議・セミナー室にて『宮城県沖地震から 40 年 岩手・宮城内陸地震から 10 年』をテーマに開催いたします。詳しくは、HP をご覧ください。(<http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html>)



守茂昭氏



会場の様子



後藤和久准教授



上山眞知子特任教授（客員）



総合討論の様子

文責：稲葉洋平（災害医学研究部門）

写真：鈴木通江（広報室）